

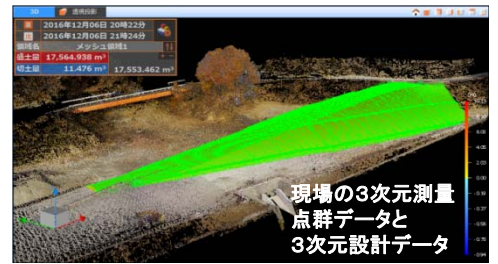
平成28年度小渋ダム葛島地区整備工事

○施工者(元請け)がICT施工の活用に積極的で、当事務所発注工事だけでも本件が2例目。また地元の測量業者やレンタル機械メーカーと協力してICT活用工事の現場勉強会を実施するなど導入、普及にも積極的。

路体(築堤)盛土(転圧有) 15,200m³
盛土法面整形 2,930m²

の現場にMCバックホウ1台、GNSSタイヤローラ1台を導入

MCバックホウ1台で盛土敷均と法面整形を実施
(MCとMGを切り替えて作業, GNSSブルドーザ1台を削減)



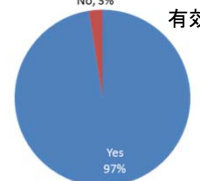
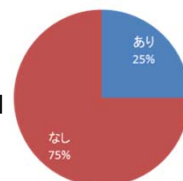
ICT活用工事の現場勉強会を実施

長野県南部防災対策協議会の会員各社を対象に
28社、51名が参加

「具体的に体験でき、どんなものかわかってきた」
「実際にICT建機を操作して理解できたところが多い」



「現場環境、条件にどの程度対応できるか？」
「便利なのは承知したがしっかりと熟知しなければ！」
「コストが安くなればよい」



施工者の声

- 工期:「レーザーキャナによる測量と丁張り省略により作業日数が大幅に短縮でき、その分元請職員を他の施工管理等の業務に充てることができた。」
- 工程:「作業スペースに合った施工機械の適正な配置(GNSSブルドーザの削減)を行い、各機械の作業効率の安定化を図ったため、日々進捗の均一化ができた。」
- 施工:「敷き均し作業時と法面整形時において、MCとMGを適宜切り替えて作業することによりバックホウ1台で効率的に施工できた。」
- 品質:「当該作業全般にICT建機を導入したことにより、品質の向上、均一化が図れた。」
- 安全:「法肩等危険箇所での測量、丁張り作業が軽減できたため、安全性の向上に寄与した。」